



friendship force
WESTERN TOKYO

西東京クラブ会報

No. 14 2011 DECEMBER

東ワシントン・北アイダホクラブ受入特集号



町田市長表敬訪問

【1】東ワシントン・北アイダホクラブ受入

1-1) 発見しました。「交流」ということの楽しさを。

町田市長 石阪 丈一

2011年10月に、西東京クラブの皆さんの交流活動の折に、北アメリカ地域のクラブのメンバーに、町田市役所を訪問いただき、時折、おぼつかない英語を挟んで、懇談をさせていただきました。

東ワシントンと北アイダホクラブのメンバーは、F. F. ですから、もちろんフレンドリーでした。私が勝手に野鳥の話をして迷惑な顔をせず、白頭鷺(ハクトウワシ=合州国の国鳥)やミサゴなど北米のワシタカ類の話を披露していただいたり、本当に、温かな懇談の場を作ってくださいました。会話にもしぐさにも、フレンドシップフォースの良さが伝わってまいりました。とても、楽しいひとときを持つことができたことについて、今回ご参加くださった合衆国のメンバーと西東京の皆様にご感謝を申し上げます。皆様のこの活動がもっと盛んになることを願っています。

1-2) 東ワシントン・北アイダホクラブの 受入交換 総括 ED 竹田 敏子

2011年9月30日～10月6日西東京クラブ、10月6日～13日愛媛クラブは、アメリカ、東ワシントン・北アイダホクラブの受入交換を行いました



ValerieさんとAnnabel(ED)さんに囲まれて

3月11日の東北大震災と福島原発問題により、FF日本の国内受入が激減した中、来日されたクラブはたった3件、其の中の貴重な一件を私達がお迎えする事が出来ました事を有り難く思っております。日程行事、感想、その他について各担当者が執筆します。私は簡単に受入クラブのご紹介をします。

東ワシントン北アイダホクラブ設立:1984年1月1日
メンバー:45名、米国有数の小麦栽培地域、森林と湖に囲まれた広い範囲のクラブ

会長:Annabel Lungo 会長職は2年に1回選挙、
今回は会長のAnnがED兼務

クラブについて:役員会は6週間毎又は年3回程度を持っているが、月刊のニュースレターで情報を交換、2つの州にまたがる合同クラブだけに、ミーティング等で会員が顔をあわせる機会が少なく、来日で初対面の方も居られました、今回のアンバサダーの成田空港到着時間も航空会社もバラバラ、愛媛クラブへの移動もバラバラなのは、そんな理由からと納得できました。

帰国されたAnn EDから西東京訪問は自分の全ての旅行の中でもhigh-lightだった、乗り物、食べ物、トイレ、習慣、都内観光、温泉、箱根1泊旅行、そしてあなた方のhospitalityは素晴しかったとの満足された感謝のメールを頂きました。私は、会長始め皆様の心温まるご協力に、これがフレンドシップの信頼関係と友情の実践かと再確認しながら初めてのEDを楽しく終える事ができました。

1-3) アンバサダー受入の感想 山崎 恵美子

アンバサダーを受け入れた以上、滞在中の1週間はすべて彼女に捧げると覚悟をきめた。友達とのランチ、おしゃべりはキャンセル、夫の夕食作りはなし、仕事はお休み。新百合ヶ丘の改札口で、ドキドキ、わくわくの私に、シャーロンは重いトランクを引きずり、澆刺と、さわやかな微笑みをうかべながら「恵美子」と駆け寄ってきた。家に着くとすぐ一人で散歩。1時間も帰らず、私はそわそわ、家に入ったり出たり。好奇心の旺盛さに驚きた。嫌いなものはなし、何でもおいしそうに食べる。お風呂上がりの素敵なガウンは、まるで女王様。おしゃべりで、気さくで、お話し好きで、素敵な人に出会えた。FFに感謝!



毛筆で自分の名前を漢字で書いた Sharon Spearさん

私の夫への気配りも最高。一緒にお食事と誘われたが、スケジュールいっぱいの私達と夫の忙しさと実現は不可能だった。「彼女のモットー」と教えてくれたことが“KIS”つまり、“Keep it simple”生活も、人生もすべてシンプルにするということだった。自分をしっかり見つめ、健康に気をつけ、毎日2時間ぐらい歩くそうだ。帰国したらすぐに、妹さんとギリシャへのクルーズに出かける予定という。人生を楽しむ姿に乾杯!

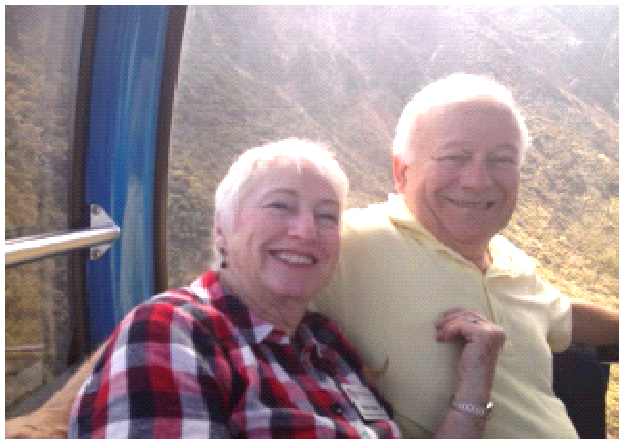
1-4) 偶然は必然

西村 千織

2011年東ワシントン・北アイダホクラブ交換で初めてのホストをさせていただきました西村です。アンバサダーのイルチンク夫妻は両親と同じ年代という事もあり、親孝行している気分にもなり感謝しております。

ホストを自宅に迎えられるなんてまだまだ先の日！英語も少しは勉強し、ゆっくりと構えていればいいわ！少しずつクラブに慣れてその内に！と決め込んでいた私ですが、とんでもないどんどん話が進み、ホストになってしまいました。

けど解ったことは楽しい事は早めに経験しておく事！FFのクラブのメンバーは初対面からお友達だという事です。ドキドキでした。「受入れの1週間で嫌われたらどうしよう、初めてのホストで気が利かないと思われるだろうなあ・・・」と色々思いました。



Mavis & Charles Ircink ご夫妻

けど、そんな心配は必要なかった。出来る事をやればいい！楽しく、アンバサダーと一緒に！
榎川会長・石井ご夫妻・西東京クラブメンバー皆様ありがとうございました。

1-5) 日本の文化体験(着付け)

白谷 裕子

今回は全員の方が、着物をお召しになりたいとのことで、女性用7セット。男性用2セット用意致しました。他に見て頂くために、振袖も展示しましたが、それを着たいという方も何人かいて、やはり！と思いました。

体型補正は何とかOKでしたが、日本人の好む品格の良い着物は不評で、他からお借りして来たド派手な着物に人気集中で、順番待ちも出た位です。でも想像以上に皆さん、着物がお似合いなのですから不思議です。白い肌、美しい髪の色、どんな色をもって来ても負けません。

主に着付けて下さった井上さん、そして竹之内さんがとてもきれいに着付けの出来る方で、今後頼もしい限りです。アンバサダーの方達も喜んで頂けて、私達も日本文化の紹介にお役に立てたかな、と嬉しく思っています。



Kenneth & Barbara Brown さん夫妻の着物姿

唯、反省点は何分にも慌ただしく着付けたあと、少しゆっくり写真を撮ったり、お茶を飲んだりする時間があつたら、と感じました。有難うございました。

1-6) 歓迎会

今村 佐知子

例年は時間通り開会できない歓迎会ですが、今回は会場側の好意で4時から借りることができました。多くのメンバーの協力で会場準備も万端、予定の5時半きっかりに19名のアンバサダーに向かい、まずは“Welcome to Japan, Welcome to Western Tokyo!”そしてマイクは榎川会長へプレゼント交換では Ann 会長から donation を頂き被災地への思いやりに心温まる思いでした。



アンバサダー達の合唱

会食の後はアンバサダーとホストファミリーによる自己紹介、金婚式を迎える夫婦や“亡き母も一緒に日本に来ました”とお母さん手作りの絆纏を嬉しそうにはおっているアンバサダーの姿に一段と大きな拍手が湧きました。余興はアンバサダーが張り切っていましたので、私達は2曲で控えめに。上を向いて歩こうを振り付けて高垣氏の下相当練習したのですが、相手にどの程度伝わったのかは想像に任せま

しょう。アンバサダーのリードで最後にFFの歌を全員で合唱。やはり締めはこの歌になりますね。しっかり覚えなくてはと反省しました。時間通りお開きとなりまずまず順調な滑り出しでした。

1-7) 都内観光

石井健二

10月2日(日)、Aコース(江戸東京博物館→浅草→銀ブラ;アンバサダー4人、デイホスト2人)、Bコース(浅草→水上バス→浜離宮;アンバサダー12人、デイホスト等13人)、の2コースに分かれ、それぞれスムーズに楽しく実施しました。



浜離宮庭園にて

江戸東京博物館では特別イベントとして、万華鏡を無料で作る体験コースがあり、全員約30分かけて綺麗な万華鏡を作り、よいおみやげになりました。そのあと英語ガイドを付けて、約2時間館内を見学しました。ガイドの方が要所を写真や資料、裏話を織り交ぜながら詳しく説明してくれたので、江戸、明治、大正、昭和の近代史をそれなりに理解し、満足してもらえたと思います。浅草では雷門、仲見世通り、浅草寺など人の多さに驚いたようですが、伝統生活・工芸用品、寺院、社殿に文化、歴史の深みを感じたと言っておられました。完工間際の東京スカイツリーもタツプリ見て頂きました。思ったより皆さん健脚で、約15000歩、4時間位の歩行になりました。

1-8) 箱根旅行に参加して

鈴木 澄子

初めての参加に迷っていた私に折角入ったのだから楽しまなくてはと言う加藤さんのひと言に後押しされ行くことにしました。

11月に予定していたお花の展示会もめどがついたのもちょうどその頃でした。さて、当日の朝、待ち合わせの町田駅ではヴァレリーさんが胃腸の具合が悪いので薬を買いたいとのこと。しかし、まだ10時前であいていないので持っていた大田胃酸をさしあげました。苦い薬はよく効くわよと言ったもののよほど具合が悪いみたいでつらそうにのんでいるのがわかりました。



強羅ホテル前にて

竹田さんに後でそのことを話したら薬なので慎重にしないといけないので様子を見ていたとの事で、軽率なことをしてしまったと最初から落ち込んでいました。後でわかったことですが彼女はおなかをこわしていたようでした。幸い薬が効をなしてかよくなり箱根については本当にお元気そうで安心しました。最後には命の恩人といわれてちょっと嬉しくなりました。今回はうまくいきましたが、やはり人の命にかかわることには慎重に対処しなければいけないとつくづく思いました。これからいろいろな事に遭遇すると思いますがそのためにはたくさんの外国の方々にお会いして経験をつんでいくしかないと思いました。

1-9) デイナーホスト体験

井出 万里子

FFクラブに入ってからのお仕事、即了承しました。が、日が近づくにつれ不安になってきて当日は朝からそわそわ…ポットラックパーティーだったのでお料理の心配はなかったのですが英語に触れる生活をしてこなかったのが日常会話から困った。英会話の本を開いたり、気が付くことをそわそわと準備しながら‘引き受けなければ良かった’ときりに思っていたところへ‘ピンポン’その時から、世界が変わってしまった！不安など全く忘れてしまい、対応に追われ 夫の準備してくれた3Dの映像を皆と見たり、持ち寄りの心尽くしの美味しいご馳走を皆で頂いている時はもう家の中は笑いの渦！家の中がピッカピッカに輝いていた。私は永らくお酒・コーヒ

一類が飲めなかったのに、パーティーではこれらが飲めてしまい、これも大変な驚きでした。



楽しかった我家のディナーパーティ

なんとそれ以来、それらが飲めるようになったことが嬉しい！

一体、疾風のように去っていったあれは何だったのだろう？ ただのテンションが上がって舞い上がっていただけではない。人との交流が巻き起こす摩擦熱だったのだろうか？

【2】味の素工場見学

村上 トシ子

7月7日(木)12名で味の素川崎工場見学に参加致しました。テレビのCMやスーパーの陳列棚に並ぶ、味の素の豊富な品揃えを目にする事は有りましたが商品を手に取り買い物かごに入れる事は無かった私ですが……



味の素ほんだしコース見学

係の方の先導で見学コースに、まずは旨みを舌で感じる事から器に注がれた味噌汁に小瓶の白い粉末をポンポンと振り入れると、あら不思議外食した時出される口当たりの良い味噌汁の味に、次に味わったおにぎりは鰹の風味のほんだしを温かいご飯に混ぜて握ったもの、食してみても夏場おにぎりの中に具を入れられない時に？アイデア頂戴と思いまし

た。コース見学で旨み調味料の原材料や製法をこの目で見て頑なに拒み続ける事も無いか？と思いました。上手に利用すれば良いですね。昼食は関係者のご配慮でやさしい味の和食を、ご馳走様でした。

【見学会のコメント】

富長 健治

今、福島原発で風評被害が話題になって居ります。その風評被害の歴史をかいくぐって来た会社の最たるものが味の素(株)です。少しでも風評被害の解消に役立った見学会でした。

【3】ハンブルグ FFI 世界大会に参加して

高垣 孝

2011年のFFI世界大会は、ドイツのハンブルグ市郊外のベルゲドルフという町にあるラマダホテルで、8月26日～30日まで開かれました。

世界23ヶ国から約400名(パーティだけの参加者も入れて)の参加がありました。参加人数の多い国は、地元ドイツ150名、USA91名、日本46名、ロシア16名、英国14名、カナダ13名、オーストラリア9名、等となっていました。日本が3番目に多かったのは、埼玉クラブが21名大挙して参加されたからでした。珍しい国としては、ネパールのカトマンズクラブ、ケニアのナイロビクラブ、アゼルバイジャンのバククラブからも参加がありました。将来はこういう国とも交換があるかもしれません。

大会はハンブルグクラブ会長の挨拶やブラウンFFI会長のスピーチに始まり、愛知和男名誉顧問による、3.11の被災状況や、各国クラブからの様々な支援に対する、感謝のスピーチがありました。2日目は約50名ずつ、16テーマに別れたワークショップを中心とした内容でした。その中で私が参加した“Exchange Assignments: 2012 and Beyond”では、交換の優先順位を決める方法の話が中心で、“Strategies for Club Growth”では、リクルーティング、コミュニティ活用、リーダーシップ、若者向け企画等の成功事例の話題、“Here is an Idea”では、各クラブが抱える問題のQ&Aの自由討議、“FFI Policies”では、2011年3月14に改訂された“2012 Club and Exchange Policies”の説明が行われ、いずれも興味深い活発な議論がありました。この他、私は参加できませんでしたが、“Exchanges with a Special Theme”では従来のクラブ同士の交換に加えて、あるテーマを決めて交換(例えばエコロ

ジー、音楽、語学研修、etc.)という新しい試みが実践されつつあるようで、ブラウン会長もFF交換の将来の目玉の1つとして期待しているようです。

3日目の全員参加のハンブルグ市内観光の中で、聖ミカエル教会で簡単な礼拝とオルガンコンサートがありました。左右、後部3台の大パイプオルガンが同時に鳴って、天井の上から聴こえてくるような演奏は圧巻でした。また伝統あるハンブルグ市長舎で、女性市長から直接FFI歓迎のメッセージをもらうことができ、メルケル首相を始め、ドイツでは女性の政界進出が著しいことを感じました。



最終日の Presentation of Awards 風景

ハンブルグは第二次世界大戦で英・米軍に爆撃されたとはいえ、バロック様式の教会も多く再建されています。ハンブルグ中央駅ではモーツァルトやブラームス(ハンブルグ出身)の音楽が流れてくる、古典的雰囲気のある、緑豊かな大都会でした。最終日に来年(2012年)の広島世界大会に向けて、広島クラブの森川会長がプレゼンテーションを行い、日本からの参加者全員で日本の童謡を歌って盛り上げました。

【4】太田群馬主催の日本大会

会長 柳川 善一

関東平野の中心に広がる太田市の郊外、藪塚温泉を代表するホテル「ふせじま館」が第24回FF日本大会の会場で、去る2011年11月19日FFIからブラウン会長を招いて賑やかに開催されました。主催した一昨年の労苦と感激を思い起こしたからでしょうか、東武電車で僅か1時間半と同ブロックのように近い西東京クラブからは、例年になく総数166名中14名もの参加で、懇親パーティでは全員が舞台上に上がり、2011年度のアメ리카からの受入で披露した『上を向いて歩こう』を振付入りで合唱して評判を取りました。



太田群馬クラブ宮崎会長挨拶

午前中の代表者会議では、①合同渡航の留意点②今後の日本大会③ED及び会長の役割と任期等を協議、予定の時間内に結論をまとめられた宮崎議長の手際良い司会と進行が光りました。受入元EDからの情報不足の問題点については、西東京柳川と愛媛峯両会長からブラウン会長に、今後の交換についての強く要望を出しました。午後の全体会議の中では被災された宮城クラブ広瀬会長と、郡山クラブ蓋会長の報告と寄付に対するお礼が感動を呼び、最後に来年の世界大会の広報を広島クラブ森川会長がDVDでPRして大いに盛り上がりました。翌20日は日光、渡良瀬渓谷、足利・太田市内と三班に分かれて観光、西東京会員が中心となった「足利学校」等の見学では、FFの名誉顧問でもある太田市清水市長にご挨拶しました。今後の日本大会は2012年に広島で世界大会のためお休み、2013年鳥取、2014年札幌と決定しました。

【5】2012年の広島世界大会

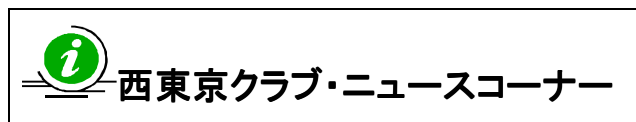
FF日本事務局 石井 嗣代



フレンドシップフォースの世界大会は1979年よりほぼ毎年開かれており、世界中から会員が一堂に会して、旧交を温め、新しい友人を作りながらFF活動の勉強会をしています。日本からはいつも数十人の参加者がいます。日本では一度新潟で開かれたことがあります。今回はブラウン会長と私で一から三年越しでプランしました。広島クラブの森川会長の情熱も加わり、細部にわたって検討しましたので素晴らしい大会になることと思います。原爆から復興した美しい広島の町で、被爆におびえた2011年

を乗り越えて、多くの日本の皆さんが参加くださることとても期待しています。

広島には原爆ドームと宮島と言う2つの世界遺産があります。2012年はいつもしらににご参加くださる日本大会もありませんので、どうぞたくさんの方員さんがおいでくださり、世界の人々と交流を深めていただけたらと切に願っております。よろしくお願ひいたします。



【1】2012年の活動予定 連絡先担当者の敬称略

- ・1月3日
浜離宮・鷹狩技見学会
連絡先) 石井健二 Tel:044-852-5231
Email:rucola-ki@ac.auone-net.jp
- ・2月5日
西東京クラブ総会 於)ホテル・エルシー龍皇
連絡先) 事務局 山本文 Tel:042-725-6617
Email: fumi_ym@jcom.home.ne.jp
- ・3月25日～31日
フランス・ビアリッツクラブ受入
連絡先) ED 石井健二 Tel:044-852-5231
Email:rucola-ki@ac.auone-net.jp
- ・6月～7月
関東ブロック会議 西東京クラブ主催
- ・6月末日 第15号ニュースレター発行
- ・7月26日～8月1日
エストニア・タリンクラブ渡航
連絡先) ED 虫明陽子 Tel:042-795-5466
Email:yoko-mushiaki-8lynx@nifty.com
- ・10月30日～11月3日
FFI世界大会 於)広島市
連絡先) FF日本事務局 石井嗣代
Tel: 044-852-5231
Email:tsuguyo-ishii@w8.dion.ne.jp
- ・12月末日 第16号ニュースレター発行
- ・その他、毎月1回役員会、クラブミーティング、他

【2】新入会員・再入会員のお知らせ

11月～12月にかけて、次の方々が朝日新聞の広告をご覧になって、新しく入会されましたので歓迎したいと思います。

- ・高松栄子さん
- ・松塚邦子さん
- ・菅沼益子さん

上記の方々のプロフィールは、原稿締切直前の入会でしたので、次号でお願いすることにします。また8月から、藤田正敬さんが再入会されました。

以上の皆さんには、左に記載しました諸活動に向けて、積極的な参加を期待したいと思います。

【編集後記】

10月初めの東ワシントン・北アイダホクラブの受入も無事終わり、ほっとしたのも束の間、ニュースレターの発行に向けての準備が始まりました。今回はできるだけ新人の方に、体験談を書いてもらうよう配慮しました。

今回のアンバサダーはフライトがばらばらで、中には寝坊して乗り遅れて来た人がいたり、迎える方は相当苦勞されたようです。それでも受入が始まると、皆さん思い思いの楽しい体験をされたようです。

特に表敬訪問では、石阪町田市長にも国際交流の楽しさを発見していただいたようで、今回アレンジされた我クラブの大西宣也町田市議会議員に感謝したいと思います。

今年は3.11の影響によるキャンセルが他クラブでは多かった中で、渡航も受入も予定通りできた西東京クラブはラッキーでした。また他の活動でも、関東ブロック会議6名、味の素工場見学12名、世界大会2名、日本大会14名と参加人数も多く、総じて充実した1年ではなかったかと思われまふ。

来年はフランス・ビアリッツクラブ受入、エストニア・タリンクラブへのリターン渡航、広島でのFFI世界大会等、エキサイティングなイベントが待ち受けているようです。それに伴い、このニュースレターもより充実した内容になることを期待したいと思います。

広報担当： 高垣 孝

編集発行：ザ・フレンドシップフォース・西東京
事務局：東京都世田谷区上馬 2-37-12-701
柳川 善一

Tel & Fax: 03-3419-3018

E-mail: nagikawa@n01.itscom.net